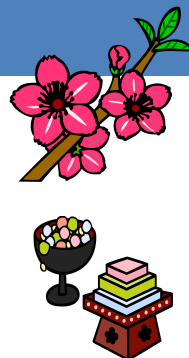




水通信



2023.2.27 第190号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

水資源機構（旧水資源開発公団）は、令和4年（2022年）5月1日で設立から通算して60年を迎えました。

今後も「安全で良質な水を安定して安くお届けする」経営理念のもと、事業推進に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

60年記念動画を、こちらからご覧になれます。



豊川・木曽川水系30ver.jpg



豊川水系15ver.jpg



木曽川水系15ver.jpg

水資源機構ホームページでも、60年記念事業についてお伝えしていきます。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya>



目 次

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。
各記事の事業所名をクリックすると目次ページに戻ります。

☆ [【巻頭言】](#)

- 中部支社事業部次長 末松 義康

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [【インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』】](#)

☆ 《新着情報》

[中部支社](#)

- 交通安全講習会を開催しました

[豊川用水](#)

- 令和4年度豊川用水環境学習会を開催しました
- 湖西用水土地改良区が豊川用水施設を視察されました

[木曽川水系連絡導水路](#)

- 危機管理対応訓練を実施しました
- 育児休業・介護休暇説明会に参加しました

[愛知用水](#)

- 交通安全に関する講習会を開催しました

[木曽川用水](#)

- 木曽川大堰ゲート整備工事の見学会を実施しました
- 愛知県土地改良事業団体連合会現地研修で木曽川大堰を視察
- 長良導水の水利権更新協議に伴い現地視察がありました
- 第2回 交通安全講習を開催しました

[岩屋ダム](#)

- 危機管理対応訓練を実施しました

[阿木川ダム](#)

- まだまだ寒い日が続きますが、冬の阿木川ダムをお楽しみください

[徳山ダム](#)

- 徳山ダムで今年度初の積雪となりました

[長良川河口堰](#)

- 環境学習会を実施しました

[味噌川ダム](#)

- 新春恒例の「木曽谷狼煙（のろし）あげ」が開催されました！

[三重用水](#)

- 三重用水管理所職員が水沢（すいざわ）浄水場を見学しました
- 安全運転講習を受講しました
- 三重県北勢地域に大雪が降りました

☆ [【編集後記】](#)

- 担当課 中部支社事業部 水路事業課

巻頭言

【 中部支社事業部次長 末松 義康 】

中部地方整備局からお世話になっております。どうぞよろしくお願い致します。

さて、去る10月26日に中部支社にて「働き方改革講習会」が開催されましたが、講演後の雑談の中で講師が「私が社会人大学院卒業後参加させてもらっていた勉強会で“学びの成果は、自分が変わること”と教わりました。その後の行動が変わることが一番の研修成果だと思います。」と話していました。

この言葉が印象に残ったので調べたところ、これは林竹二（教育哲学者・1906～1985）が『学ぶということ（国土社）』にある「学んだことの証しは、ただ一つで、何かがかわることである。」のようでした。さらに林先生の言葉を調べると『生きること学ぶこと（筑摩書房）』の中で、「学ぶということは、絶えず自分をつくり変えていくことだとわたしは思っております。」「それで何が変わるのだろうか。それは、ものを見る見方・考え方が変わり、生き方が変わるということです。」と述べています。

私たちは研修・講習、OJT、自習や関係者との会話の機会を通じて様々なことを学んでいます。この「学び」が単に知識の増加や業務上のスキルを身につけるためだけになってはいないでしょうか。

“学びによって何かを変える”。この言葉をみなさまにお伝えしたく巻頭言に記しました。「変わる力」が水のプロ集団「水資源機構」を支える力だと私は思っています。

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける2月27日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の2月降雨量は平年を下回る状況（平年比89%～93%）となっておりますが、4ダム合計の貯水率は69%（平年比103%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

なお、牧尾ダム及び岩屋ダムでは、3月末に向けて主として発電による貯水池運用により貯水量が計画的に低下していきます。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの2月降雨量は、平年を下回る状況（平年比38%～60%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は62%（平年比92%）と平年を下回る貯水状況となっています。

豊川水系においては、少雨に伴う河川流況の悪化により、ダムからの利水補給を行っているため、今後の降雨、貯水状況に注視していきます。

中部管内各ダムにおける2月の降雨及び利水貯水率（2月27日現在） 単位：（％）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	92	89	93	89	38	60	60	79
利水貯水率 (平年比)	28.4 (98.8)	75.3 (94.9)	98.9 (107.3)	100 (105.2)	45.9 (77.6)	83.0 (99.1)	68.3 (82.2)	100 (100)

木曽川水系各ダムにおける積雪状況 単位：（cm）

	牧尾ダム (御岳高原地点)	味噌川ダム (ワサビ沢地点)	岩屋ダム (麦島地点)	徳山ダム (塚地点)
(調査日) 積雪深	(2/20) 38	(2/19) 50	(2/20) 27	(2/20) 71
平均値	71	84	61	117

データ提供元：（岩屋ダム）岐阜県高山土木事務所 （徳山ダム）国土交通省

平均値：調査日同日又は該当する旬の近10ヶ年平均値

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

- ◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>
- ◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>
- ◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など
<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyohou04-1.html>



ブレイクタイム 名言・格言

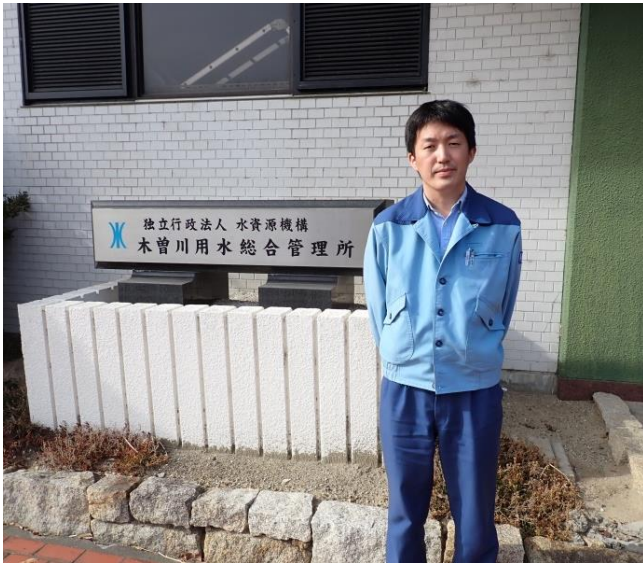
【 イチロー 】

壁というのは、できる人にしかやってこない。
超えられる可能性がある人にしかやってこない。
だから、壁がある時はチャンスだと思っている。

インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、木曽川用水施設の管理を支える若手職員に、これまでの経験や今後の抱負などについてお話を伺いました。



<Profile>

川北健二郎 Kenjiro kawakita

木曽川用水総合管理所 管理課

平成29年 独立行政法人水資源機構 採用
豊川用水総合事業部に配属

平成31年 本社：水路事業部利水課

令和2年 本社：経営企画部企画課

令和4年 木曽川用水総合管理所へ異動

■木曽川用水総合管理所を背景にインタビューを受ける川北さん

川北さんは平成29年に水資源機構に採用され、令和4年4月から木曽川用水総合管理所の管理課に配属されていますが、これまではどのような業務を経験されてきたのですか。

——採用後、初めて配属となった豊川用水では、豊橋支所において二期工事の現場監督を経験しました。次に配属となった本社では、水路事業部利水課において河川協議に関する業務を中心に経験し、経営企画部企画課においては積立金や中期計画の業務を経験してきました。

職員として採用されるまで、水資源機構のことはご存じでしたか。

——水資源機構のことは大学でのリクルート等で知ってはいましたが、業務内容はダム等の管理等を行っているぐらいのざっくりとした印象だったと記憶しています。

そのようなざっくりとした印象の中、水資源機構に就職しようと思った理由について教えてください。

——前職においては土木職での小さな業務は経験していましたが、用地の仕事もあるなど土木専門の仕事ではありませんでした。経験を積み重ねるうちに、土木の仕事は楽しいのですが専門性がなかったので、土木に絞りたいと考え、自分の大学での専攻が「水」だったこともあり、土木で「水」を極めるには水資源機構かなと考えました。

まさに「水」を支えるスペシャリストですね！現在の木曽川用水総合管理所では、どのような業務を行っているのでしょうか。

——4月に配属されてから10月までは予算関係の業務を主に行っていましたが、現在は、河川協議やストマネに関する業務を中心に行っています。

その他の業務も様々あり大変だと思いますが、円滑な業務遂行のためにどのような点に気を配っていますか。

——最初に配属となった豊橋支所で上司から言われたことでもあります。仕事はルーティン業務以外で突発的な仕事が入ってくることが多々あるので、その日に出来る業務はその日に終わらせて、次の日は予定がないくらいでちょうど良いと考えています。何事も早め早めに済ませ、なるべく業務を残さないことを心がけて行っています。

その考えは素晴らしいですね！どんな時にやりがいを感じますか。

——設計や積算、河川協議やストマネなど、土木の仕事全般ですが、それぞれの業務で自分の思い描いていた物が形となった時に達成感を感じています。

多忙な職場でストレスもあるかと思いますが、ストレス解消のための趣味などがありましたら教えてください。

——車で色々な所に遠出したり、釣りに出かけるとが多いです。釣りは、遠くは九州から伊豆諸島の離島にもよく出かけ、岩の上から磯釣りを楽しんでいます。昨年の7月には、島根県の隠岐の島で体長112センチのヒラマサを釣り上げました。



■隠岐の島で釣り上げたヒラマサ

とても大きいですね！自分の趣味でリフレッシュすることは大切だと思います。最後に、今後どのように活躍したいと考えていますか。今後の抱負をお聞かせください。

—— 入社してからまだ経験が浅いので、一事務所、一事務所、しっかり学んで経験していきたいです。一つの事務所で、1年目に勉強、2年目に活躍、3年目は引き継ぐ、このような流れを継続していけば、立派な職員になれるのではと考えています。

（あとがき）

年度末を間近に控えての業務多忙な中、インタビューにお応えいただきありがとうございました。川北さんの仕事に対する考え方に共感することが多々ありました。趣味の釣りでストレスを発散し、自分の業務をスムーズに行っている姿は頼もしく思います。今後の水資源機構のリーダーとして成長していくことを期待しています。

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応じていただける方を引き続き募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。



■九絵（クエ）の魚拓



ブレイクタイム 四字熟語

【 百折不撓（ひゃくせつぷとう） 】

・何回失敗しても志をまげないことの意味。努力をしてもうまくいかないことは多いです、ついめげそうになるときもやってきます。それでも努力を続けてやる気を曲げない精神も大切です。

《新着情報》

中部支社

○ 交通安全講習会を開催しました

1月18日（水）、中部支社において交通安全講習会を開催しました。

昨年の年末には名古屋市内でも雪が降り積もるなど、寒い日が続いている中ではありましたが、愛知県中警察署交通課より職員をお招きし、昨年になごや市内で実際にあった痛ましい交通死亡事故について、再現映像を含めて講義していただきました。

当日は、機構職員等30名が参加し、運転に関するアドバイスや注意事項等に耳を傾けていました。

愛知県は、昨年中の交通死亡事故者数が全国ワースト2位だったそうです。要因としては、人口が多いこともありますが、ながら運転等のマナーの悪さや交通ルールを守らないことが大半を占めていると思われ、愛知県警では、今後も交通死亡事故者を無くすべく、積極的に啓発活動や取締りの強化等を行っていくとのことです。

講習を受け職員一同は、公用車やマイカーを運転するときは、今回の講義内容を念頭に置き、運転マナーや交通ルールを守り、事故を未然に防ぐため、より一層安全運転に気を付ける決意を新たにしました。



■名古屋中警察署職員による講習会の様子

豊川用水総合事業部

○ 令和4年度豊川用水環境学習会を開催しました

1月20日（金）、豊川用水総合事業部において、自然環境等に関する知識向上を目的に、当機構職員のほか、土地改良区等関係機関から総勢27名（WEB参加を含む）が参加して「令和4年度豊川用水環境学習会」を開催しました。

今年度は「樹木診断（樹木健全度調査）では何をしているのか」をテーマに、外部から講師をお招きしての学習会となりました。

樹木診断の方法や改善方法等について、専門家から講演いただき、最新の知見を学ぶことで、今後の業務遂行の参考になったものと思います。

また、講習会后に実施したアンケートを参考に、今後の環境学習会運営に生かしていきたいと思います。



■学習会の様子(豊川用水総合事業部)

○ 湖西用水土地改良区が豊川用水施設を視察されました

1月27日(金)、影山理事長(静岡県湖西市市長)をはじめとする湖西用水土地改良区役員の総勢19名の方が、豊川用水施設及び豊川用水二期事業の状況を把握するために、豊川用水施設を視察されました。

当日は、雪が降る中での宇連ダム、大島ダム、大野頭首工、大野導水併設水路工事、東西分水工、東部幹線併設水路浅間・風越工区工事、雲ノ谷分水工、万場調整池という広範囲にわたる視察行程ではありましたが、それぞれの施設の状況を把握され、その役割と重要性を再確認いただけたものと思います。

特に、湖西用水土地改良区に関係のある静岡県側に送水する施設である雲ノ谷分水工では、興味深く施設をご覧になりました。

豊川用水では今後も、関係利水者・関係機関の皆様方のご理解とご支援を賜りながら「安全で良質な水を安定してお届けする」という水資源機構の経営理念を全うできるよう努力して参る所存です。



■宇連ダム堤体



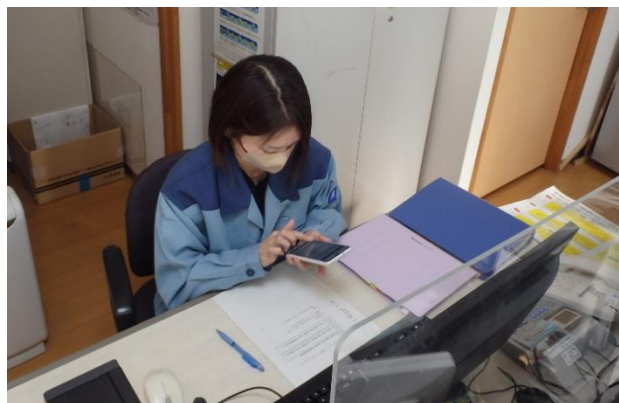
■東西分水工、大野導水併設水路工事 工事現場

木曽川水系連絡導水路建設所

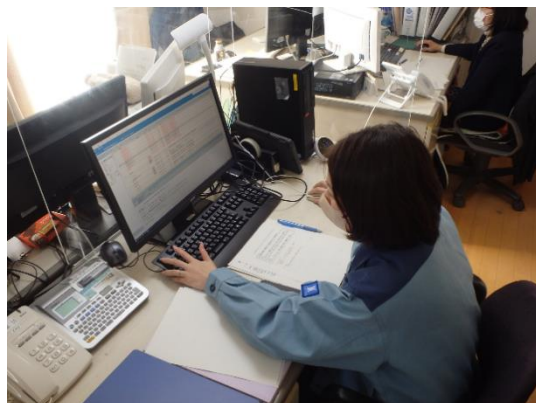
○ 危機管理対応訓練を実施しました

阪神・淡路大震災の発生から28年目となる令和5年1月17日（火）、当事務所の職員等全員を対象として、災害伝言板を用いた安否状況の登録、確認等の訓練を実施しました。

今後も、危機管理対応に係る訓練を積み重ね、災害時に迅速な対応ができるよう努めてまいります。



■災害伝言板に安否状況の登録



■防災PCで事務所全員の安否確認

○ 育児休業・介護休暇説明会に参加しました

2月9日（木）、育児休業・介護休暇に係る社内説明会が実施され、当事務所の職員も出席（WEB）しました。

説明会では、水資源機構における育児・介護のための制度概要について学んだほか、育児休業・介護休業の取得要件の緩和、産後パパ育休制度の創設等を内容とする昨今の法改正についての理解も深めました。

引き続き、職員が働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。



■説明会受講の様子

愛知用水総合管理所

○ 交通安全に関する講習会を開催しました

愛知用水総合管理所は大部分の職員等がマイカーによる通勤をしています。このため日頃行っている安全運転に関する呼びかけのほか、交通安全に関する講習会を開催しており、今年度は1月20日（金）に管轄する愛知警察署の交通課の方を講師にお迎えして講習会を行い33名が参加しました。

資料を使った説明とDVDの聴講という構成で、県内で発生した交通事故の分析に関する説明をしていただき、愛知県の交通事故死者数は全国的には上位であるものの、車両保有台数あたりでは全国45位であることなど初めて知る内容も多く、関心を持って受講することができました。

今後も安全運転に関する啓発活動を継続して実施し、通勤や現場に向かう慣れた道でも、改めて気を引き締めて安全運転に心がけてまいります。



■愛知警察署交通課の講師による講習会の様子

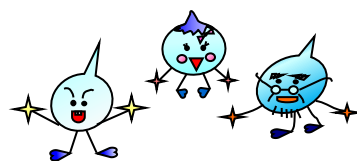
木曽川用水総合管理所

○ 木曽川大堰ゲート整備工事の見学会を実施しました

1月19日（木）木曽川用水事業の重要施設である木曽川大堰の役割や、施設の健全性・安全性を確保するための維持管理の内容を知っていただくため、関係利水者を対象に現在実施中の大堰ゲート整備工事の見学会を開催しました。

木曽川用水では、平成29年度より木曽川大堰ゲート設備の整備及び塗替え塗装を1年に1門ずつ順次実施しており、令和4年度は土砂吐1号ゲートの整備等を実施しています。

この見学会には、愛知県、名古屋市、海部土地改良区から5名の参加があり、通常は間近に見ることの出来ない施設と、その整備状況を利水者の皆様にご確認いただき、施設の更新整備の必要性について説明するとともに、整備工事实施における水管理・運用上のリスクなど共有を図りました。





■ ゲート整備の見学



■ 開閉装置室内の見学

○ 愛知県土地改良事業団体連合会現地研修で木曽川大堰を視察

1月19日（木）愛知県土地改良事業団体連合会（通称：水土里ネット愛知）における現地研修の一環として、木曽川大堰を視察されました。全国水土里ネットでは、土地改良施設維持管理適正化事業を実施するために必要な適正化資金の助成と交付を通じて、農業水利施設の整備補修や高効率化・省エネ対策、安全管理対策を実施するとともに、事業を適切に運用するための相談、指導、調整などが行われています。

水土里ネット愛知においても、土地改良施設維持管理適正化事業に加入している団体の役職員を対象として県内の土地改良施設等を視察し、農業土木の知見を広げ技術の向上を図ることを目的として、今回の研修に41名の方が参加されました。

今年度、明治用水頭首工での漏水事故が発生したことから同じ構造の木曽川大堰（馬飼頭首工）の構造や日々の監視等の説明について、興味を持たれておられました。

参加いただいた役職員の方々には、木曽川用水の日々の管理等について、十分に学んでいただけたことと思います。



■ 事業概要説明



■ 操作室での説明

○ 長良導水の水利権更新協議に伴い現地視察がありました

1月19日（木）国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所占用調整課（課長外2名）が令和6年度の長良導水の水利権更新（単純更新）の協議に伴う長良導水施設の視察をされました。

操作室において、長良導水と受託する長島3用水の配水管理、水質観測設備による水質管理、河川の濁りや浮遊物に応じた選択取水ゲートの運用方法、良質かつ安定的な通水の実現、取水施設の特長である取水口から施設内に魚が入り込まないようにするための「魚返し」、「音響装置」、「回転スクリーン」、「フロートフェンス」の設置の他、魚の遊泳力を考慮して非常に遅い流速（毎秒30cm以下）で取水するなど、これらの魚類迷入防止施設により水産資源の保護に配慮した施設であること等の管理概要を説明しました。

また、現地では長島3用水の第1制水弁（供用施設）、長島3用水のポンプ場建屋（外観の紹介のみ）、取水口、選択取水ゲート上屋内の水質自動観測装置及び除塵設備の運用状況を視察されました。



■管理概要説明



■現場視察の様子

○ 第2回 交通安全講習を開催しました



■講習会の様子

1月17日（火）稲沢警察署から講師を招き、交通安全講習会を開催しました。本講習は、木曾川用水に勤務する職員等を対象に、安全運転及び運転に対する責任等の意識を高めるため毎年度2回実施しております。

今回は信号や横断歩道のない交差点で、歩行者が右側から横断することを注意するなどについて、講師の講話及びDVDの上映を通じて、自分自身や、子どもを始めとする大切な家族が交通事

故に巻き込まれないために、常日頃から意識すべきことや取り組むべきことについて学ぶことができました。

これからも安全運転に対する意識をより一層高く持ち、事務所一同安全運転に努めてまいります。

岩屋ダム管理所

○ 危機管理対応訓練を実施しました

1月19日（木）岩屋ダム管理所では、危機管理対応訓練を実施しました。訓練内容は、現在使用している通勤ルートのうち、洪水期における浸水や土砂流出被害などの災害発生が危惧される区間の確認や、災害等により通勤ルートが使用できなかった場合を想定した迂回路の確認を行いました。

日頃から災害を想定した訓練を行うことで、非常時においてもダム管理が確実にできるよう、今後もさまざまな危機管理対応訓練を実施し、非常時に対する準備をしていきます。



■土砂流出のあった場所の確認



■豪雨時に閉鎖される陸閘の位置を確認



ブレイクタイム ことわざ

【 魚心あれば水心 】

・魚が水に対して好意を持てば、水も魚に好意を示すことから、人との付き合いも好意を持って接すれば、相手も応じてくれるという意味。まずは自分が心を開くことが大切なのです。

阿木川ダム管理所

○ まだまだ寒い日が続きますが、冬の阿木川ダムをお楽しみください

阿木川ダム湖周辺は、ダム堤体・阿木川大橋・防災資料館等を巡る1周約2.6kmのウォーキングコースが整備されています。防災資料館の横には駐車場もあり、年間を通じてウォーキングやジョギング、犬の散歩に来られる方も多く、四季折々の阿木川ダムの風景を楽しむことができます。

特に今の時期は、天気が良くて空気が澄み渡る日には御嶽山を望むことができます。

また3月中旬までの間、管理用設備の整備に伴い、通常は防災操作時にしか行わない洪水調節用ゲート（オリフィスゲート）からの放流を実施しています。ぜひ暖かくしてお出かけください。



■阿木川ダムと御嶽山



■雪の中のゲート放流（1月27日）

徳山ダム管理所

○ 徳山ダムで今年度初の積雪となりました

昨年の年末に大雪が予想されるなか、徳山ダムでは12月12日（月）に堤体上道路と堤体の境界にある岩同士をつないでいるチェーンを、積雪の重みによる破損から守るために外すなど積雪に対する予防措置を行いました。

その後、12月14日（水）には徳山ダム管理所で今年度初の積雪があり、12月20日（火）には約70cmの積雪となりました。

徳山ダム周辺に降った雪はなかなか溶けず、管理所の屋根に積もった雪は、徐々にすべり軒先を内側へと曲がりこんできます。そのままにしておくと、バルコニーの手すりが破損す

るため、寒い中、専用の除雪棒を使って、雪を落とす作業を行いました。落とした雪が貯水池に着水した際の衝撃と音はなかなかの迫力です。

また、冬期期間中も徳山のダムサイト公園は、午前9時から午後5時まで開放しており、ダムカードも配布していますが、積雪や凍結による事故を防止するために、堤体部や展望台などへの立入をご遠慮いただいております。

徳山ダムへ来訪される際は、冬用タイヤを装着するなど冬対策を行い、路面状況や野生動物との遭遇に十分注意してお越してください。

令和5年になり、あまり雪が降らずに早く暖かい春を迎えたいものです。



■冬は事故防止のため通行止めになっている堤体上道路



■徳山ダムサイト公園の風景



■ベランダからの雪落としの様子

長良川河口堰管理所

○ 環境学習会を実施しました

長良川河口堰管理所では、12月21日（水）に職員の環境意識や長良川のアユ等に関する知識の向上を目的とした環境学習会を実施しました。

今回の学習会は、岐阜県美濃市の岐阜県魚苗センターを見学しました。この魚苗センターはアユの採卵、孵化から稚魚の育成、出荷までを一元的に行う施設で、岐阜県での放流アユ生産において重要な役割を担っており、施設の概要や、魚苗センターで行うアユ育成の一連

の流れについて説明を受けた後、実際に飼育池などを見学しました。それらを通じ、餌となるプランクトンの培養やアユの成長段階に応じた飼育方法、徹底した水質・水温管理などアユ育成の大変さや魚苗センターの方々のアユに対する思いを知ることができました。

河口堰に勤務する職員として様々な場面で接することがあるアユについて、知識を深めることができた大変有意義な学習会となりました。



■ 概要説明を受ける様子



■ 飼育池で説明を受ける様子

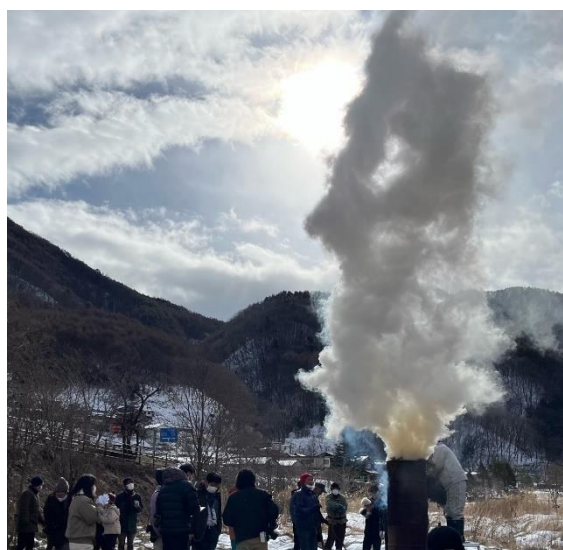
味噌川ダム管理所

○ 新春恒例の「木曽谷狼煙（のろし）あげ」が開催されました！

木曽谷地域各所では、毎年年始の時期に「木曽はひとつ」というスローガンの下「木曽谷狼煙あげ」という恒例行事が行われており、今年も1月4日（水）に開催されました。

狼煙あげの「あげ」には、「勢いを盛んにする、勢いをつける。又は大勢の人を集めて動かして事を起こす。」という意味があるようで、各地域から一斉に白煙が上がり、木曽谷の一体感が感じられる行事です。

味噌川ダム管理所職員は、昨年に引き続き木祖村で行われる狼煙あげに参加させていただきました。ドラム缶からモクモクと出た白煙が空へと舞い上がる様は、迫力と同時に木曽谷地域住民のつながりを実感するとともに、この狼煙の白煙に、今年一年が良い年でありますようにと願いを託しました。



■ 狼煙あげの様子

三重用水管理所

○ 三重用水管理所職員が水沢（すいざわ）浄水場を見学しました

12月22日（木）三重県企業庁の水沢浄水場を見学しました。水沢浄水場は、三重用水管理所のある菰野調整池から原水を供給しており、三重用水だけを水源としている浄水場です。三重用水管理所では、日頃より、安定供給の他、水質にも気を配り、浄水場の担当者と連絡を密にし情報共有しています。

当日は、浄水場の職員から水質に関する説明、模型を用いての浄化実験及び浄水場内の施設の説明をしていただきました。この見学により、三重用水から供給している原水が、どのように利用され、どのような苦労があるのかを学習することができ、原水の供給の重要性を再認識することができました。



■施設案内の様子



■浄化実験の状況

○ 安全運転講習を受講しました

三重用水管理所では、1月17日（火）、19日（木）の両日で二班に分かれて安全運転講習を受講しました。

津市にある三重県交通安全研修センターにて、動体視力の検査や路面状況がブレーキに及ぼす影響を体験しました。車両の運転は施設の維持管理のために欠かすことのできない重要な業務の一つです。今後も交通事故防止の徹底及び一層の交通安全意識の向上に努めます。



■ シミュレータによる事故回避訓練



■ ブレーキ操作体験

○ 三重県北勢地域に大雪が降りました

1月24日（火）夜間より、三重用水管理所のある三重県北勢地域は大雪に見舞われ、三重用水管理所周辺でも50cm程度の積雪が観測されました。この大雪により新名神高速道路や周辺の一般道路において、長時間にわたる車両の立ち往生が至るところで発生しました。

翌日の四日市市では最低気温が観測史上最低の -7.8°C を記録し、家屋の水道管が破裂するなど、社会的に大きな影響がありました。

三重用水管理所では施設の点検や巡視を行い、幸い施設に異常はありませんでした。引き続き用水の安定供給に努めてまいります。



■ 菰野調整池天端の積雪



■ 菰野調整池沿いの市道の積雪

編集後記

【担当課：中部支社事業部 水路事業課】

今年も、新型コロナウイルス感染症の中での受験シーズンを迎えることとなりました。私事ではありますが、本年度は、我が家でも受験生が1名いたため、家族全員コロナなどの感染症に対してビクビクしながら生活する日々が続きました。

幸いにも我が家では、コロナなどの感染症にかかる家族が出なかったため、娘は順調に受験に臨むことができました。ただ、多少咳き込んでいる家族はいましたが・・・。

ここ最近は、コロナがやはり始めた頃に比べれば、ワクチンなどの感染対策や医療体制が進んだことで、大分コロナ前の生活に近づいてきていますが、受験生などがいる家庭ではまだまだ注意が必要ですし、気が抜けない日々が続きます。

今後、「新型コロナウイルス感染症」については、今年5月に感染法上の位置付けをインフルエンザと同じ5類に引き下げることにしていると聞いています。また、マスクについても人混み以外では着用義務が解除されるなど、感染対策も少しずつ見直されるようです。一日でも早く「コロナ」前の日常に戻ってくれることを願っています。



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

mailto:chubu_water@water.go.jp

『第191号は、4月下旬に発行する予定です。』
バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/>
 豊川用水総合事業部：<https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>
 木曽川水系連絡導水路建設所：<https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/>
 愛知用水総合管理所：<https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>
 木曽川用水総合管理所：<https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/>

岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社